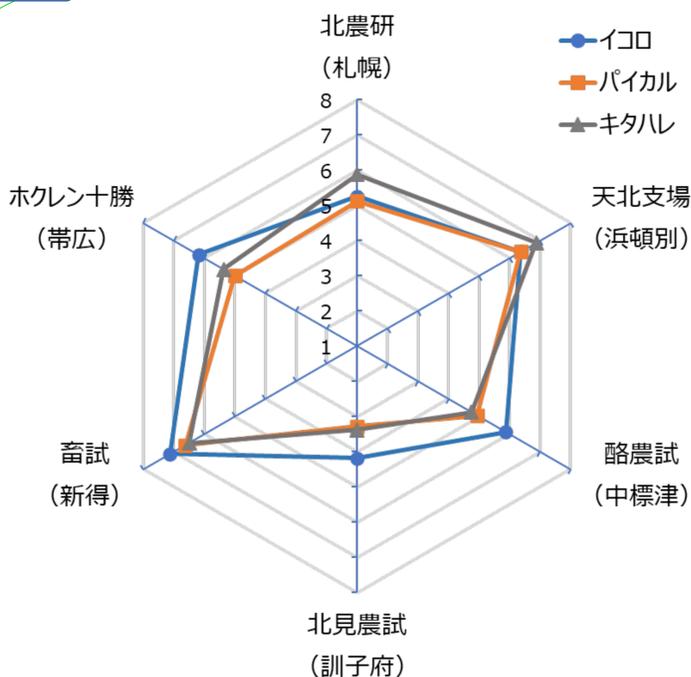


厳しい冬も乗り越える！ オーチャードグラス新品種「イコロ」

オーチャードグラス「イコロ」は、農研機構北海道農業研究センターとホクレン農業協同組合連合会が共同育成した、晩生新品種です。道東の土壤凍結地帯における**越冬性に優れ、WSC（糖）含量が高く飼料品質が優れます**。「イコロ」は、冬季の気象条件の厳しい道東でも越冬性が安定していることから、北海道全域において、自給飼料の高品質化と安定生産に貢献できます。

越冬性

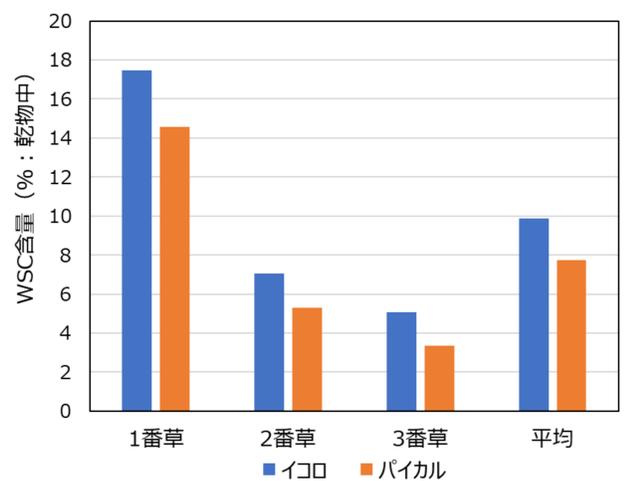


オーチャードグラス「イコロ」の越冬性
注) 越冬性は1:極不良-9:極良。

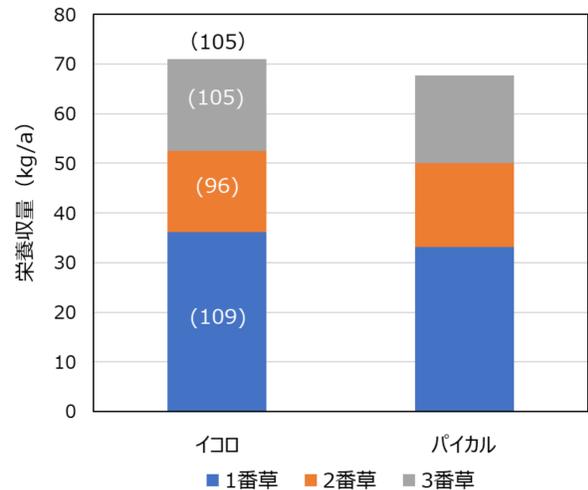


オーチャードグラス「イコロ」の越冬状況
道総研北見農業試験場（訓子府）、3年目、
2024年5月8日

飼料品質



オーチャードグラス「イコロ」のWSC¹⁾含量
1) WSC: 水溶性炭水化物(糖)。北農研とホクレン十勝試験地の2場所2カ年平均。



オーチャードグラス「イコロ」の栄養収量¹⁾
1) TDN (可消化養分総量) 収量。酵素分析法による推定値。北農研とホクレン十勝試験地の2場所2カ年平均。
バーのカッコは標準品種「パイカル」比 (%)

主な特性

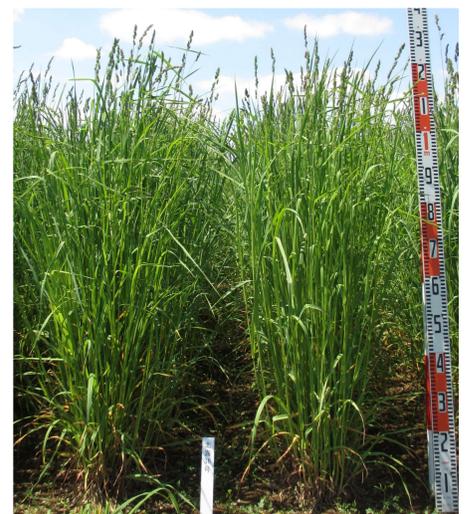
- 1) 出穂始は、標準品種「パイカル」より1日遅い（5月30日）の晩生。
- 2) 道東の土壤凍結地帯における越冬性に優れる。
- 3) WSC（糖）含量は年間を通して「パイカル」より2ポイント程度高い。栄養収量は「パイカル」より5%多い。飼料品質は「パイカル」より優れる。
- 4) 乾物収量（採草利用）は「パイカル」並。
- 5) すじ葉枯病に対する耐病性は「パイカル」より優れる。

普及

普及対象地域は北海道全域。道東を中心に普及見込み面積は5,000 ha。ホクレンより販売予定。

栽培上の留意点

採草利用を主体にして、放牧利用および採草放牧兼用にも利用できる。



オーチャードグラス「イコロ」（出穂期）